

第123回九州医師会連合会総会

常任理事 中田 安彦



第123回九州医師会総会

【総会・医学会】

期日：令和5年11月25日（土） 13：00～13：50

場所：ホテルニュー長崎

- (1) 開会の辞
- (2) 国歌斉唱
- (3) 黙 禱
- (4) 九州医師会連合会長挨拶
- (5) 来賓祝辞
- (6) 祝電披露
- (7) 宣言・決議
- (8) 次回開催担当県医師会長挨拶
- (9) 閉会の辞

去る11月25日（土）長崎県において標記総会が開催されたので、その概要を報告する。

九州医師会連合会長挨拶

森崎正幸長崎県医師会長

本日の九州医師会連合会総会には多数のご出席いただき感謝申し上げます。

私どもの喫緊の課題は目前に迫った診療報酬を含むトリプル改定の動向である。松本会長を先頭に日本医師会では日々努力いただいているところだが、マスコミ報道等でも厳しい情勢が伝えられている。医療機関における安全・安心な医療の提供や充実した介護サービスの提供等とともに医療介護人材確保のためには十分な財源確保が必要である。九州各県医師会が一丸となって、最後まで強く働きかけてまいりたい。

さて、九州医師会医学会は120年以上にわたり我が国における医学の向上、発展にも大きく寄与してきた。今日における九州医師会医学会の発展があるのも、九州各県の先人たちの並々ならぬご尽力と結束の賜物であるとともに、本日ご臨席の皆様のご指導、ご協力によるものと感謝申し上げます。

第123回を迎えた本日の医学会は2題の特別講演を予定している。また明日は例年通り5つの分科会、コロナ禍で昨年までは開催できなかった記念行事を開催する。学術、スポーツの面から会員の皆様が交流を深めていただければ幸いである。

来賓祝辞 松本吉郎日本医師会長

日頃より九州医師会連合会の先生方には日医の役員一同大変お世話になっている。また、日医執行部に九州から今村英仁先生、濱口欣也先生の優秀なお二人を送っていただき感謝申し上げます。また、行政の方々にも医師会はお世話になっており、コロナ禍で連携がとれたのも、行政の方々のお陰だと感じている。

さて、診療報酬改定については本日の午前中に開催された合同協議会でも触れたが、診療報酬を大幅アップしないと地域医療は守れないし、賃上げも成し遂げることはできない。国民の命と健康を守ることが医師会の使命だと思っているので、九州医師会連合会の先生方と力を合わせて、取り組んでまいりたい。

宣言・決議

慣例により議長に森崎九州医師会連合会会長が選任され、森崎議長進行の下、宣言（案）並びに決議（案）が提案され、九州医師会連合会総会の総意の下、満場一致で採択された。なお、宣言・決議の送付先等については九州医師会連合会会長に一任された。

次回開催担当県医師会長挨拶

福田熊本県医師会長より、来年の総会、医学会、分科会等は令和6年11月15日～17日、ホテル日航熊本において開催する旨案内があった。

※報告書の詳細につきましてはホームページをご参照下さい。
<https://www.okinawa.med.or.jp/medical/kaihou/houkoku/202303-2/>



宣 言

新型コロナウイルス感染症は収束の兆しを見せつつあるものの、医療機関での感染対策と医療提供体制は今後も維持していかなければならない。諸外国と比較しても低い致死率に抑えられた我が国の医療体制は医療従事者の献身的な努力によるものであり、引き続き医療機関への継続的な支援が必要である。

また、わが国が世界に類を見ない「超高齢社会」を迎える中、「第8次医療計画の策定」、「外来機能報告制度」、「医師の働き方改革」、「かかりつけ機能の報告制度」、「医療・介護の人材不足」、「必要な薬剤の供給停止や高価格の薬剤の問題」、「医療DXの推進」、「オンライン診療」、「新型コロナを含む新興感染症対策」、「高騰する光熱費、材料費」等々医療界は多くの問題、課題を抱えている。

昨今は、地球温暖化、異常気象、地震などによる広域災害が多発しており、九州各県も協力して「災害に対する医療体制」を構築していく必要がある。

令和6年度は、診療報酬、介護報酬、障害福祉サービス等報酬のトリプル改定の年である。光熱費等の物価高騰や賃金上昇は、公定価格で運営する医療機関、介護事業所等に大きな影響を及ぼしている。地域包括ケアシステムのさらなる推進のため、医療・介護・障害福祉サービスの連携に必要なスタッフの確保や、安定した運営等に必要な財源を確保し、「少子超高齢社会」に対応できる医療・介護の体制確保が、十分可能な改定になるように政府に強く働きかけていく。

九州医師会連合会は日本医師会、地域医師会と連携を取り、この様な問題、課題に一致団結して取り組んでいくことをここに宣言する。

令和5年11月25日

第123回九州医師会連合会総会

決 議

我々九州医師会連合会は、政府に対し、次の事項を強く要求する。

- 一、国民皆保険制度の堅持
- 一、十分な医療の提供継続のために必要な、次期診療報酬改定における診療報酬アップ
- 一、フリーアクセスを阻害するような「かかりつけ機能の制度化」には断固反対
- 一、不足している医療・介護関連職の人材確保
- 一、医療DXの推進に対する医療機関への設備費補填の充実
- 一、必要な薬剤の供給体制の見直し
- 一、新型コロナウイルス感染症を含む新興感染症対策の継続
- 一、災害に対する医療体制構築のための種々の支援

以上、決議する。

令和5年11月25日

第123回九州医師会連合会総会

印象記

常任理事 中田 安彦

新型コロナウイルス感染症は5月に感染症法の5類へ移行され、社会全体としては平時の対応に方向転換したことに伴い、医療界への共感・支援への関心は急速に低下した中で、喫緊の課題は目前に迫った診療報酬を含むトリプル改定の動向であると肌で感じた。

医療機関における安全・安心な医療の提供や充実した介護サービスの提供等とともに医療・介護人材確保のためには十分な財源が必要であるが、このままの情勢では財源確保は困難な可能性があり、医師会全体で医療崩壊を未然に防ぐためにも医師会が総力を結集してことに当たらないといけないと強く認識した。



お知らせ

沖縄県文化観光スポーツ部観光振興課からのお知らせ

おきなわ医療通訳サポートセンターについて

沖縄県では、外国人観光客の医療問題に対応すべく、多言語コールセンター（名称：おきなわ医療通訳サポートセンター）を開設し、医療機関向け①電話・映像医療通訳②簡易翻訳サービス③インバウンド対応相談窓口をすべて無償で実施しております。

各医療機関におかれましては、是非、有効利用下さいますようお願い申し上げます。

【問い合わせ先】
「おきなわ医療通訳サポートセンター」
医療通訳サービス運営事務局（受託事業者：メディフォン株式会社）
☎ 0570-001-003

無料

24時間365日対応



① 電話・映像医療通訳サービス（18カ国語対応）

0570-050-232

② 簡易翻訳サービス（20カ国語対応）

okinawa_mi@okinawa-kanko.com

9時～17時・平日

③ インバウンド対応相談窓口

info@okinawasoudan.com
0570-050-233



←詳細はこちらからご覧ください
<https://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/kankoshinko/ukeire/iryoutuyakukoruserntar.html>